



救援から1年 今日自衛隊車両の試乗会

～小千谷市総合体育館コミュニティプラザ～

あの日から1年復旧復興に全力・・・2
 震災1周年復興祈念行事・・・3
 新潟県中越大地震小千谷この1年・・・4～7

中越大震災ネットワークおぢや設立・・・8
 お知らせ(健康)・・・16～18
 お知らせ・・・18～23

あの日から1年 復旧復興に全力

小千谷市長 関 広一



新潟県中越大震災小千谷市復興祈念式典で復旧復興への決意を述べる関市長

あの日から、1年が経ちました。平成16年10月23日午後5時56分という日時は、我々生涯忘れることのできないものとなりました。

市民の皆様は、被害の程度や置かれていた立場で、各々対応や気持ちに違いはあると思いますが、全員が大変恐ろしい体験をし、この1年間無我夢中で過ごされたものと推察いたしております。

先日こんな会話も聞きました。「夏も過ぎ、また冬支度をしなくてはならない季節になったね」、「何言っているの、ついこの間雪が消えたばかりでしょう」ある姉妹の会話であります。まさに実感です。時間は早く流れております。

私たち市役所も、それこそ一時的の休む間もなく災害復旧に取り組んでまいりました。災害現場を持つ建設課や農林課などに職員を集

村から職員を派遣していた

30人も採用し、早期復旧に努力しておりますが、皆様がその成果を目にする部分はまだまだ少ないと思います。今後は、公共事業を始め復旧の形は速度を速めて現れるはずであります。道路、水道、学校などの復旧はおおむね平成18年度には完成をさせたいと思っておりますが、その他行政としてやらなければならない問題も数多くあります。小千谷市

全体の経済の活性化をどうしていくかということであり、経済活動は、農業分野も含め生活の糧であり、生きがいに繋がるものであります。

しかし一方では、8百数十棟の仮設住宅やアパートなどに避難されている方々の、落ち着く先をお手伝いさせていただくのが最優先でもあります。そして、今回の震災で全国の皆様から

温かいご支援をいただき、本当に感謝をいたしております。今後は、他の自治体の皆様とこれを縁に災害に際し、お互いに助け合う組織づくりをすることも恩返しの一つの方法と思いい、先般「中越大震災ネットワークおぢや」を設立しました。目的は、災害発生時における情報の提供や経験職員の派遣調整などを行いたいというものであります。

さらに、これからの小千谷のまちづくりのために、市民の皆様と英知を出し合いつつくりあげました「小千谷市復興計画」があります。これを着実に実行することにより、震災を乗り越え小千谷市をより良いまちにしたいと考えております。いずれにいたしましても、災害の復旧・復興はこれらが本当の意味での勝負だと思いますので、市民の皆様と一緒にがんばりましょう。

10月23日(日)あの地震から1年の日、市内ではあの日あの時に思いを寄せる式典や行事が行われました。



総合体育館に設けられた献花台には大勢の人たちが菊の花を捧げ犠牲者の冥福を祈りました



新潟県中越大震災1周年 合同追悼式
新潟県中越大震災1周年合同追悼式で「復興への誓い」を述べる東山小学校の児童



新潟県中越大震災1周年メモリアルコンサート
神戸市役所センター合唱団によるコンサート・トーク



新潟県中越大震災1周年合同追悼式で遺族を代表して挨拶をする佐々木與吉さん(両新田)



小千谷市復興祈念式典における小千谷青年会議所のみなさんによる「復興の誓い」



震災発生当時、豪雪の冬に救援に駆けつけてもらった自衛隊、この日は東部方面音楽隊が演奏と歌声を披露



自主防災会、町内会、消防団などが参加して行われた10.23小千谷市防災訓練



復興祈念講演会では神戸で被災経験を持つ間寛平さんが聴衆を元気づけてくれました

小千谷この1年

あの新潟県中越大地震から1年、市内の被災した箇所ではそれぞれ復旧が進められています。

被災箇所を訪れ、当時と現在の様子を比較してみました。



大きな段差ができた国道117号山辺橋付近



復旧した国道117号山辺橋付近

新潟県中越大震災



墓石が倒れる震災直後の船岡公園北越戊辰戦争西軍墓地



市民と全国の有志により復旧された西軍墓地

現 在



復旧した道路（ 稗生地内）

震 災 当 時



陥没した道路（ 稗生地内）



復旧が進む本町通り



震災直後の本町通り



被災した道路と家屋が片づく荷頃地内



道路や家屋が泥に埋まった荷頃地内

現 在



復旧した道路と下水道（千谷地内）

震 災 当 時



道路に飛び出す下水道のマンホール（千谷地内）



復旧工事が進む住宅地（船岡）



震災により崩れる住宅地（船岡）



復旧が進む墓地（平成）



ほとんどの墓石が被害を受けた市街の墓地（平成）



中越大震災の経験を生かすため

「中越大震災ネットワークおぢや」設立

中越大震災ネットワークおぢや設立準備会が10月25日(火)サンラックおぢやで開かれ席上全国規模の震災に対応するネットワークが発足しました。

地震など大規模な災害が発生したときの市町村の業務は、短期間に大量の業務が発生します。その多くが通常業務とはまったく内容や質の異なる経験したこと

のない業務で、被災者の生命や財産を守るため、公正かつ迅速に処理する必要があります。

中越大震災では、地震発生からまだ日の浅い段階から、被災経験のある神戸市や芦屋市などが駆けつけ、救援物資の受け入れ態勢や、り災証明の発行などのノウハウを教わり、とても役に立ちました。

また、全国の多くの市区町村から避難所の管理や医療・保健などを担当する職員の派遣を受けました。

これらの経験から、7月に策定された復興計画では、震災の教訓を生かし、全国への貢献のために、他地域で災害が起こったときのための支援体制をつくるとしています。ネットワークおぢやは、これを実現するために、呼びかけをしたものです。中越大震災を通じてこれら災害対応をした

職員がその体験や教訓を検証し、今後発生する災害時に的確かつ迅速に対応できるようにするための研究をはじめ、被災地に経験職員を派遣するための支援体制を整備するために全国規模で設置したネットワークです。

当日は、県内の市町村をはじめ、本市に職員を派遣してくれた全国の自治体などから137人が出席して、このネットワーク設置に関する規約の承認や会長、副会長の選任が行われました。

会長には、小千谷市出身の丸山久一長岡技術科学大学理事・副学長、副会長には、重川希志依富士常葉大学環境防災学部教授と関小千谷市長を選出しました。

この会の活動を通じて、小千谷市が中越大震災で経験したことを全国で役立てるとともに、本市の災害対応能力の向上を図りたいと考えています。



中越大震災ネットワークおぢやの会長に就任した長岡技術科学大学副学長丸山久一さん

新潟県中越大震災体験記 あの時わたしは



白山運動公園仮設闘牛場で再開された牛の角突き

6月の闘牛復活は被災者の力に 監物伸行さん(中山)



地震が発生したとき、私はタクシー会社で勤務につこうとしていました。あの地震の中で、まず頭に浮かんだことは、自宅にいる病気の93歳になる父親のことでした。横渡で車を降り、線路を渡って浦柄に行くと道路は水浸しでした。

途中やはり帰宅する東山の民生委員の5人と一緒になり、歩いて行くと浦柄公会堂のあたりで前へ進めなくなりました。その後、地元の親切な人の案内で山越えをすることができ、山に上がると岩間木の火災の火が見えました。東山トンネルが通行不能なため、田圃道を通り何とか中山までたどり着きました。町内では、夜になっても大きな地震が続く中、東山小学校のマイクロバスに子どもやお年寄り、女性を入れて避難させていました。そして翌日からは金倉会館に移り、その後町内の人たちは海上自衛隊ヘリで総合体育館に避難しました。

避難所にいる間も、東山の闘牛関係者からは、「春になったら東山に帰り、闘牛がしたい」という声が聞かれました。牛持ちの人たちは震災直後、闘牛の再開を夢見て、命がけで牛を救出していました。

この春、私たちの要望がかない、被害を受けた小千谷闘牛場に代わり白山運動公園に仮設闘牛場が完成、県内外に避難させていた牛を連れ戻して、6月に例年よりも1カ月遅れで、開幕にこぎ着けることができました。この牛の角突きの再開は東山の住民だけでなく、小千谷市全体の明るい話題となり、復興への力となりました。

私も市が、地元にとって大切な東山小学校と闘牛場を修復してくれるというので、自宅を修理し「自分の家に帰りたい」と言う父親の願いを聞き、9月26日に仮設住宅を出て中山に戻りました。



ビニールハウスを利用した避難所

トマトハウスが避難所に 丸山公重さん(池ヶ原)



町内会長でしたので地震後すぐに町内の様子を見て回りました。消防団が池ヶ原小学校に地元住民を集め避難させました。地元協議委員が話し合ったところ学校の鍵はあるものの、余震が続いているため、中に入ることはとても無理

だということになりました。とりあえずグラウンドに自動車を止めて避難しましたがすぐにいっぱいになってしまいました。

そのうち誰からともなく、安全な避難場所として、「トマトハウス」という言葉がでてきました。雨露がしのげ、たとえ地震で壊れたとしても、大きなけがもないということでした。ちょうど田中吉郎さんの「トマトハウス」の1棟がイチゴを植えるために整地してあり、この中に入ることになりました。ハウスの中には発電機もあり、灯りも点けられました。すぐにハウスの中で炊き出しがはじまり、新米や、秋野菜も豊富でしたので、食べ物には困りませんでした。その後、結局他のトマトハウスもトマトを撤去し、古田、池中新田の人たちも加わり4棟に約300人が避難しました。

けが人が6人いましたが地元に看護師、保健士もいたため助かりました。また、寝たきりで介護を必要とする人はデーホームらしく(旧池ヶ原保育園)に収容し、民生委員の中村正雄さんが不眠不休で介護にあたってくれました。

今考えてみると、米の収穫後であったこと、土曜日の夕方自宅に看護師、保健士がいてくれ、けがの手当にあられたこと、日ごろから地域づくり活動をしていたため、住民のまとまりがあったことなど、市内のなかでは避難生活がうまくいった方ではないかと思っています。

市展・市総合文化展入賞者

第25回小千谷市展、第39回小千谷市総合文化展が11月1日(火)から3日(祝)まで市民会館とサンプラザで開催されました。審査の結果、次の方々が入賞されました。市展の作品の審査員の選評と市長賞の作品を紹介します。

審査員 《日本画》 倉田久男（日本美術院院友・新潟市） 《水墨画》 浅井菁亭（全国水墨画会会長・新潟市）

《洋画》 山本安雄（一陽会会員・南魚沼市） 《書道》 吉田六嶺（日本書道教育学会評議員・上越市）

《写真》 本田清（日本写真家協会会員・新潟市） 《彫塑・工芸・版画》 渡辺信二（日展会友・新潟市）

日本画

総体的にレベルが高い。絵

は題材と構図によって決まる。その点、夫々の感性でパラエティーに富んだ題材が豊富である。ただ、構図の組み立てに難があるものが目立った。色の扱いは総じて生（なま）のままのものが多く、もつと統一して上から色を掛けて、明と暗、あるいは主と従を位置付けると、奥行きや品位が増します。

市長賞の作品

静かな落ち着いた雰囲気が出る作品。作者の意図と見せ場を心得ている。抑えるところは消して、しかも明澄さを失わない。

水墨画

さすが無鑑査作品は立派です。作品全体を見て皆よく出ていますが、平面のものが

多いようです。しかし真剣に向き合って描いている方が多く素晴らしいと感じました。

市長賞の作品

写実的に表現、近中遠など全体的に画面が明るく気持ちの良い作品に仕上がっています。

洋画

全体的に力作が多く、審査に苦労した。ただ、いろんな事情から出品数がやや少なく、小品が多いのが残念。描きたいものをしっかりと決めて、奇をてらうことなくまじめに取り組んでいる作品が多く好感が持てる。

市長賞の作品

テーマが明確で真つ向勝負という「構え」と力をかきました。省略と強調（どの部分をどの程度に描くか）ということがこれからの課題といえます。とにかく力作です。

市展入賞者（敬称略）

日本画の部

市長賞 内山美恵子（土川2）

新潟日報美術振興賞 久保田光子（本町1）

奨励賞 山本令子（元町）、高橋トモ（津山町）

佳作 池佳子（千谷川2）、永井美智子（千谷川1）

水墨画

市長賞 山崎辰二（稻荷町）

新潟日報美術振興賞 近藤忠男（木津団地）

奨励賞 青柳サチ子（桜町中）、新保正文（千谷）、長谷川綾子（栄町）

佳作 堀泰（西中）、国松孝（小栗田）、井佐容（浦柄）、

今井静江（千谷川2）

洋画

市長賞 高津正雄（東栄1）

新潟日報美術振興賞 関明一（塩殿）

奨励賞 星野登喜治（山寺）

佳作 吉川修（長岡市）、保科キヨ子（城内4）、宮崎勉

（上ノ山4）



日本画 市長賞 内山美恵子さんの作品「残暑」



水墨画 市長賞 山崎辰二さんの作品「晩秋の阿賀野」



洋画 市長賞 高津正雄さんの作品「晩秋の漁港」



写真 市長賞 片岡慎太郎さんの作品「力闘」



彫塑・工芸・版画 市長賞 横山定さんの作品「北帰行」

書道

全体的には、どの作品も制意図がしっかりしていて、独創性に満ちていて大変好感が持てました。特に漢字作品に意欲的力作が目立ちました。仮名がやや低調でした。漢字かな交じりの作品はもっと多くの方にバラエティーに富んだものになると思います。

市長賞の作品

構成に無駄がなく見事に呼応させています。技術的練度も高く、運筆の呼吸で緩急の変化を効果的に表現した作品です。

写真

震災後1年のブランクを爆発させたかの感ある今回の小千谷市展写真部門の作品群でした。今後の写真活動と復興に力を尽くしていただきたい思います。

市長賞の作品

闘牛の写真是よく見ますが、勢子とともに戦う姿に迫力があります。とくに勢子の手と足の表現が素晴らしい。小千谷の未来に期待感が高まります。

彫塑・工芸・版画

工芸作品は素材の質感によつて美しい作品にもなるしその反対にもなります。今度の作品は目一杯楽しい労作がほえましく感じました。この機会をモノ作りの原点として捉え、これからどうすれば次につながるかを期待します。

市長賞の作品

完成度が高く、素直で好感のもてる作品でした。難を云えば口元の造りをちよつと考えるとちよつと良くなります。



書道 市長賞 中村彌生（翠畦）の作品「應機」

書道

- 市長賞 中村彌生（古田）
- 新潟日報美術振興賞 島川幸子（元町）
- 奨励賞 阿部里奈（時之島）、高野俊英（川井本田）
- 佳作 伊佐郁子（本町1）、小林悌作（上片貝）、藤塚雅子（町裏）

写真

- 市長賞 片岡慎太郎（朝日）
- 新潟日報美術振興賞 南雲秀之（小粟田）
- 奨励賞 新保暢一（東栄1）、伊佐清二郎（東栄3）、篠田やよい（横渡）
- 佳作 桜井信夫（魚沼市）、新保勲（東栄2）、吉田愉佳（四ツ子）、吉原弘（東栄1）、大淵順次（平沢2）

彫塑・工芸・版画

- 市長賞 横山定（桜町中）
- 新潟日報美術振興賞 岩淵文子（上ノ山5）
- 奨励賞 漆原悦子（平沢1）
- 佳作 渡邊澄子（東栄2）、山本直子（旭町）、岡元直人（千谷）

総合文化展

菊花の部

- 市長賞 藤田澄子（町中）
- 奨励賞 西村秀明（千谷）、岡元賢治（船岡1）
- 県議会議員賞/金澤久作（信濃町）
- 市議会議員賞/山賀トミヨ（鴻巣）
- 教育長賞/平澤吉郎（三仏生）
- 公民館長賞/山賀ツヤ（鴻巣）



**船岡公園西軍墓地修復竣工祭開催
復興モニュメント除幕**

小千谷北越戊辰史跡復興支援の会（野澤金一郎会長）は大震災で船岡公園の西軍墓地の墓石がほとんど倒れたことから、全国に募金を呼びかけ、復旧にあたってきました。このほど工事が終わり、10月16日(日)竣工祭が行われました。また、活動の主旨を記録した復興のモニュメント「慈」^{いつくしみ}の除幕式も行われました。

式には山口県から萩市長も参列、「小千谷の人たちの思いを山口県の人たち、萩市の人たちに伝えたい」と感謝の言葉を述べられました。



JA 越後おぢや 錦鯉市場復旧

JA 越後おぢやの錦鯉市場(岩間木)が10月14日(金)復旧し、初セリが行われました。

この市場は昨年の新潟県中越大震災で管理棟が全壊し、水路部分には亀裂ができたたり土砂が流入したことから、復旧工事が行われていました。

この日の初セリには約30人の生産者から約170舟の出荷があり、全国からこの日を待ちわびた約50人の買い手で久しぶりに市場は賑わいました。

このJA 越後おぢやの錦鯉市場は11月末まで毎週金曜日に開催されます。



がんばっています小千谷っこ

震災復興スポーツフェスティバル

10月10日(祝)総合体育館で市体育協会・スポーツ少年団主催による「震災復興スポーツフェスティバル」が開催されました。

当日は、午前中にスポーツ少年団による模範ゲームや演武、ミニサッカーが行われ、午後からは参加者による大縄とびやキンポルなどのニュースポーツで楽しみました。このイベントには、新潟アルビレックスのチアリーダーが応援に駆けつけ、チアリーディングを披露するなど、体育の日に総合体育館がスポーツ一色に染まった一日となりました。



震災復興イベント「おもしろファミリーコンサート」

10月8日(土)サンラックおぢやでスイミングアカデミー小千谷主催による「おもしろファミリーコンサート」が開催されました。

第1部の動物博士吉村卓三さんの講演では、チンパンジーが描いた絵や、世界一大きなタマゴと小さいタマゴの実物を見せてくださり、来場した子どもたちは大喜びでした。第2部ではハープ・セラピスト小倉知香子さんのコンサートが行われ、公演の途中に子どもたちにハープを弾かせてくれたり、会場の10月生まれの方をステージに上げて「ハッピーバースディ」の曲をプレゼントしてくださるなど、来場者は楽しく素敵なひとときを過ごしました。

ひかり工房

紙幣クズを利用した貯金箱

「世界一高い？ 貯金箱 ゆめ一気」販売



知的障害者授産施設「ひかり工房」が日本銀行新潟支店様・㈱フーズ様のご協力により、紙幣の裁断クズを利用した貯金箱を製作し、10月24日(月)から販売を始めました。

この貯金箱には、1万円札の紙幣クズを利用した貯金箱と1,000円札の紙幣クズを利用した貯金箱の2種類あり、それぞれ紙幣の裁断クズが約80パーセント(紙幣75枚分)使用されています。

種類

花火玉型貯金箱(税込価格1,000円)
直径15cm、小千谷名物の花火玉の形です。

500円玉換算で約25万円分貯金できます。

熱気球型貯金箱(税込価格1,200円)

直径15cm、「小千谷風船一揆」の熱気球の形です。500円玉換算で約25万円分貯金できます。

花火玉型置物(税込価格1,500円)

直径21cm、花火の7号玉の形です。

貯金箱ではありません。

販売箇所

総合産業会館サンプラザ、地域間交流センター「ちぢみの里」で販売しています。そのほか福祉バザーなどで販売する予定です。

問い合わせ /

詳しくは、ひかり工房(☎82-0790)へお尋ねください。



井佐英徳選手トリノ五輪内定激励会

小千谷市出身の井佐英徳選手が2006イタリア・トリノ冬季オリンピックバイアスロン競技の日本代表として出場が内定したことを受けて、10月15日(土)サンラックおぢやで激励会が開催されました。

井佐選手は11月からワールドカップで転戦するため、オリンピック前に地元に戻る最後の機会であったことから、この日関係者による激励会が急遽開催されたものです。

席上地元のスキー選手を代表して、おぢやファイトクラブの小学生から花束が送られました。



新潟県錦鯉品評会 2年ぶりに開催

昨年新潟県中越大震災のために中止された新潟県錦鯉品評会が10月29日(土)・30日(日)の両日総合体育館コミュニティプラザで開かれました。

今年の出品は震災による被害もあって、57生産者491点と例年の半分程度でしたが、「品評会開催は錦鯉の復興の第1歩」と関係者からの声が聞かれました。市内からの全体総合優勝者は次のとおりです。

- 全体総合優勝第2席 大日養鯉場(岩間木) 昭和三色
- 全体総合優勝第3席 誠養鯉場(荷頃) 紅白
- 全体総合優勝第4席 誠養鯉場(荷頃) 紅白
- 全体総合優勝第5席 坂養鯉場(蘭木) 大正三色

震災1周年復興記念

埼玉県川越市との郷土芸能交流会



10月10日(祝)市民会館で、小千谷市と埼玉県川越市の郷土芸能団体との交流会が開催されました。

来場者には、川越市から餅と招福のお守りが配られ、公演では、川越市から「天王様獅子」や市指定民族文化財である「鯨井の万作」などが披露され、小千谷市からは下夕町豊年獅子舞・五辺楽天会・片貝伝統芸能保存会・小栗田共楽会が出演しました。

川越市の方々は千谷・元中子の応急仮設住宅でも郷土芸能を披露したほか、義援金を贈ってくださいました。川越市の利根川祭典委員長は「鯨井の獅子で、小千谷の方々の厄をはらい、元気を与えたいと話を進めてきた。小千谷の獅子と鯨井の獅子が交流の輪となって、姉妹都市になれば」と挨拶されました。

震災復興イベント

「ふれあい動物園」



10月16日(日)読売光と愛の事業団主催による「ふれあい動物園」が日本ベアリング(株)広場で開催され、たくさんの動物や鳥類・爬虫類の臨時動物園に会場は大勢の家族連れで賑わいました。

当日は、家族みんなで楽しめる犬・羊・サル・ヤギ・ウサギ・ヒヨコ・カメとのふれあいコーナーやポニーの乗馬コーナーなどのほか、観客の書いた手紙を届けてくれるタカの郵便配達やユーモラスなカメのレースなどのイベントも行われ、来場した子どもたちは大喜びでした。

希望者には、係員がトカゲやニシキヘビを触らせてくださり、中にはニシキヘビを首に巻くことに挑戦した男の子もいました。

(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業



木津団地町内 太鼓と半纏など祭り用品整備

木津団地町内では、財自治総合センター(自治宝くじ)のコミュニティ助成事業で、太鼓や半纏などの祭用品を購入整備しました。

これらの用品は町内の夏祭や敬老会で早速利用され、震災で傷ついた町民に復興への力を与え、町内の団結が深まりました。



真人町里地振興協議会 イベント用品を整備

真人町里地振興協議会では、(財)自治総合センター(自治宝くじ)のコミュニティ助成事業で、宮太鼓・テント・発電機などのイベント用品を購入整備しました。

これらの用品は早速協議会組織の各団体が復興イベントなどで利用し、10月29日(土)協議会主催の「まっと秋の陣」で地元住民にお披露目され、震災復興に向け地域に大きな勇気を与えてくれました。

おぢや 文化財散歩 4

うおぬまじんじゃあみだとう 魚沼神社阿弥陀堂

魚沼神社阿弥陀堂は、市内に9つある国指定文化財の1つで、古い時代の建築で素晴らしい造形が評価され、明治39年に指定されました。小千谷小学校の裏、市立西保育園近くに林があり、その中の魚沼神社の境内にあります。

魚沼神社境内の本殿に向って手前左側にある建物が阿弥陀堂です。戦国時代末の永禄6年(1563)ころに建てられたとされています。3間(約5メートル)四方、高さ約8メートル、一重宝形造茅葺(軒下の造り、屋根4面が中央の頂点に集まる屋根の形、茅葺屋根)の御堂です。軒の出が短い造りをしており、雪が多いので屋根の負担を軽減するための配慮と考えられています。注目したいところとして、鎬つき拳鼻、象形の頭貫鼻(いずれも柱と柱をつなぐ横木の端が柱から突き出た部分の形をあらわしています)、梁や肘木のていねいな絵模様など素晴らしい造りをしています。

また、阿弥陀堂の中には、16世紀ころの鍛冶屋が信濃川の砂鉄を集めて作ったといわれる、阿弥陀如来像一体と大日如来像二体が安置されています。

文化財調査審議会委員 須田典子



作ってね！ この料理

レバーの中華風香りつけ

材料(4人分)

豚レバー160g、しょうが少々、しょうゆ小さじ1弱、酒大さじ1/2、でんぶん大さじ3、揚げ油適宜、タレにんにく少々、長ねぎ20g、しょうゆ大さじ1弱、ゴマ油小さじ1/2、酒小さじ1弱

作り方

レバーは1.5cm角の角切りにして、しょうが・しょうゆ・酒で下味をつけ(好みにより牛乳に漬けて臭みをとる)、でんぶんをまぶして揚げる。

にんにく・長ねぎはみじん切りにして、調味してタレを作る。

タレを煮立てて をからめて器に盛る。好みにより最後に白ごまをふりかけても良いでしょう。

栄養価(1人分)

エネルギー140kcal、たんぱく質8.7g、脂質5.9g、塩分0.8g

(調理：小千谷市食生活改善推進委員)

乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

地域健康相談（夜間）

震災後、生活習慣の変化や生活再建で心身ともに疲労が蓄積し、体調の変化がくるころです。そこで、医師による健康相談会を実施します。お気軽においでください。

地域健康相談日程表

開催日	会場	担当医師
12月6日(火)	千谷第2応急仮設住宅集会所	根本忠医師(片貝医院)
12月16日(金)	真人住民センター	沢中信行医師(さわなか医院)
12月20日(火)	健康センター	谷口棟一郎医師(谷口医院)

時間 / 午後7時30分～9時

内容 / 医師による健康相談、血圧測定など

健康手帳をお持ちの方は、当日ご持参ください。
健康センター ☎83-3640

うぶごえ教室

日時 / 12月14日(水) 午前9時～12時

対象 / 妊婦、一歳未満のこどもの母親など

会場 / 健康センター

内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方などについて・料理実習、会食交流会

持ち物 / 母子健康手帳・エプロン、三角布 / お子さんの離乳食

無料

申込 / 12月9日(金)まで。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。

献血バスゆうあい号

みなさんのご協力をお願いします。

全血献血

日時 / 12月7日(水) 午前9時30分～午後3時30分

会場 / (株)第一測範製作所



AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。

対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人

日時 / 毎週水曜日 午後7時30分～午後9時

会場 / 健康センター

乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4カ月児健康診査

日時 / 12月7日(水) 午後1時～1時15分受付

対象 / 平成17年7月生まれ

持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ

その他 / 離乳食講習会を同時実施



10カ月児健康診査

日時 / 12月1日(木) 午後1時～1時15分受付

対象 / 平成17年1月生まれ

持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ

その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施

1歳6カ月児健康診査

日時 / 12月14日(水) 午後1時～1時20分受付

対象 / 平成16年5月生まれ

持ち物 / 母子健康手帳

その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 12月16日(金) 午前9時～9時10分受付

対象 / 平成15年11月生まれ

持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ

その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。

歯をみがいて来てください。



3歳児健康診査

日時 / 12月15日(木) 午後1時～1時20分受付

対象 / 平成14年11月生まれ

持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、母子健康手帳

その他 / 尿検査、歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。また会場で採尿しにくいお子さんは、清潔な容器に尿を入れてお持ちください。

* 発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

健康 の情報

12月の予定



子宮頸がん検診・乳がん検診日程表（40歳以上の方は同時実施）

月日	受付時間	会場
12.5(月) 12.12(月) 12.19(月) 12.26(月)	13:00~13:10 14:00~14:10 20~38歳の子宮がん検診、 40歳以上で子宮がん検診のみ受診される方は、月曜日 14:00~14:10受付	小千谷総合病院
12.5(月) 12.12(月) 12.19(月) 12.26(月)	13:00~13:15 14:00~14:15 20~38歳の子宮がん検診、 40歳以上で子宮がん検診のみ受診される方は、月曜日 13:45~14:00受付	魚沼病院
12.2(金) 12.9(金) 12.16(金)	13:30~13:45 14:15~14:30	
12.2(金) 12.9(金)	9:00~12:30 15:00~17:30	森平レディースクリニック

今年度から、対象年齢、検診方法が変わります。必ず個人通知が届いてから受診してください。指定された日が、ご都合の悪い場合は、受診日を変更してください。乳がん検診は、今までよりも時間がかかります。余裕をもってお出かけください。

子宮頸がん検診

対象 / 20歳以上の女性で、今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 1,000円、70歳以上は無料



乳がん検診(マンモグラフィ・視触診併用検診)

対象 / 40歳以上の女性で今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 40~48歳 1,400円(X線写真を4枚撮影)、50~68歳 1,000円(X線写真を2枚撮影)、70歳以上無料
対象年齢で申込みをされていない、検診を希望される方は、健康センターへお申込みください。

心の健康相談

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

日時 / 12月13日(火) 午後1時30分~3時
会場 / 健康センター
申込締切 / 12月12日(月)

各種検診のご案内

指定された日時、会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けてください。受診通知書が届いていない方で、受診を希望する方は、健康センターにご連絡ください。

胃集団検診日程表

対象	月日	受付時間	会場
上ノ山1丁目、稲荷町、平成2、土川	12.2(金)	8:30~11:00	市民会館
日吉、船岡町、元町、栄町、本町、平成1、五辺、高梨、山本、上片貝、西中、大崩、池之平、岩間木、首沢、東山地区、城川地区、千田地区	12.6(火)		健康センター
	12.8(木)		
東小千谷地区、横浦地区	12.9(金)		白寿荘

胃集団検診

対象 / 40歳以上の方
料金 / 1,000円(平成17年度末までに70歳以上になる方は無料)
大腸がん検診を希望する方は、胃検診会場でお申込ください。容器を配布します。



認知症をお世話する家族のつどい

日頃の介護で困っていることや工夫などの意見交換をしませんか。申込はいりません。当日会場においでください。

日時 / 12月17日(土) 午後1時30分~3時
内容 / 話し合い
会場 / 魚沼病院会議室
問い合わせ / 在宅介護支援センター魚沼病院 ☎83-2888

お年寄りの心の相談会

物忘れがひどい、やる気が出ないなどでお困りの方やその家族の相談を精神科医師が無料で受けします。

日時 / 12月19日(月)午後1時30分~3時30分
会場 / 健康センター
申込締切 / 12月16日(金)



日本赤十字社

パキスタン北部地震 災害救援金のお願い

日本赤十字社では、10月8日にパキスタン北部で発生した地震災害での被災者救援のため災害救援金の受付を開始しました。みなさんのご協力をお願いします。

救援金受付期間 / 11月30日(水)まで(土日祝日を除く)

受付方法 /

現金受付(日本赤十字社新潟県支部小千谷市地区)市役所健康福祉課の窓口

に救援金の募金箱を用意しました。(金額は任意です。)

領収書を希望される場合は、健康福祉課で受付をお願いします。郵便振替(日本赤十字社本社受付口座)口座名義 日本赤十字社
口座番号 00110-2-5606
振替用紙の通信欄に「パキスタン北部地震」と明記してください。受領書を希望される場合は、通信欄に「受領書希望」と記入してください。

郵便局窓口での取扱いの場合振替手数料は免除されます。

問い合わせ / 健康福祉課

☎83-3517



結核についてご存知ですか？

長引くせきには要注意！

小千谷市においても、毎年数人から、多いときには10人以上の方に結核が見つかっています。自分は大丈夫、という安易な考えが感染に気づくのを遅らせ、周囲への感染へと広がってしまいます。

2週間以上続くせきやたんなど風邪症状がある場合は、すぐに医療機関へ行きましょう。胸部レントゲン検査、喀たん検査(結核菌検査)を受けてください。

結核は、せきやくしゃみで人にうつる病気です

結核の症状：せき(結核のせきは、乾いたせき)、たん、発熱、だるさ、胸痛血たん、食欲不振、体重減少

感染・発病の予防には予防接種と早期発見、体力の保持が大切です
疲労やストレスがたまると免疫力が低下し、感染しやすい状態になります。とくに、感染や発病の危険が高いのは高齢者です。

結核予防法により、65歳以上の高齢者には年1回の胸部レントゲンの受診義務があります。

昔、結核が多かった時代に感染し、発病こそしなかったものの、体の中に抱えていた結核菌が加齢や病気による免疫力の低下によって再燃し、発病してしまいます。とくに高齢者の場合は、せきが目立たず、食欲不振や体重減少が主症状で見つかる場合が多くあります。

免疫が低下する病気にかかっている方

(糖尿病・慢性腎不全・抗がん剤や免疫抑制剤、副腎皮質ホルモンによる治療・じん肺・がん)

ねたきり者については、ねたきり喀痰検査をおすすめします。

結核にかかっても、きちんと服薬することで完治します。

昔は不治の病と言われた結核、現在では結核によく効く薬が開発され、薬を飲み忘れずきちんと飲むことにより短期間で完治するようになりました。

受付日 / 平日(祝祭日は除く)

受付時間 / 午前8時30分～午後5時15分

電話相談窓口 / 魚沼地域振興局健康福祉部 地域保健課

☎ 025-792-8612



オーナー鯉を放つ小泉さん



錦鯉の里入館者70万人達成
川崎市の小泉さんに
オーナー鯉をプレゼント
錦鯉の里は平成元年10月にオープンして以来、10月17日(月)に入館者70万人を達成しました。
70万人目となったのは、川崎市の小泉忠之さんで、その場で歓迎式が行われ、山崎暁サンプラザ理事長から小泉さんにオーナー鯉(5万円相当)と記念品が贈られました。
小泉さんのオーナー鯉は仲間のみなさんが見守るなか、小泉さんの手により外の池に放たれました。なお、小泉さんはオーナーとして自由に来館ができることになりました。

住民票・戸籍や所得証明などの交付申請の際は 身分証明書を提示ください

12月1日(休)から住民票や戸籍、所得証明書などの各種証明書申請の際に、窓口においての方の本人確認をさせていただきます。これは他人が本人になりすまして証明書を不正に取得し悪用することを未然に防ぎ、個人情報を守るためのものです。

各種証明書申請のため、窓口においての方は、運転免許証やパスポート、住民基本台帳カード、健康保険証などの身分を証明する書類をご持参のうえ、係員に提示ください。

本人確認を行う窓口 / 市民生活課、税務課、住民票交付センター、片貝支所、各連絡所

本人確認の対象となる申請

・市民生活課関係

戸籍、戸籍の記載事項証明、住民票の写し、住民票記載事項証明、戸籍附票の写し、外国人登録原票記載事項証明、身分証明など

・税務課関係

所得証明、課税証明、営業証明、納税証明、評価証明、建物証明、資産証明など

本人確認の対象者 上記の証明書の交付申請のために窓口においての方

委任状 / 次の交付申請は「委任状」が必要な場合があります。詳しくはお問い合わせください。

・住民票

窓口においてになる方が本人や同一世帯以外の場合は、「委任状」または、「使いみちの記入」が必要です。

・戸籍

窓口においてになる方が本人や配偶者、直系の親族以外の場合は、「委任状」または、「使いみちの記入」が必要です。

・身分証明書

窓口においてになる方が本人以外の場合は、「委任状」が必要です。

・税に関する証明

窓口においてになる方が本人や同一世帯以外の場合や、法人の代表者以外の場合は、「委任状」が必要です。



住民基本台帳カードは身分証明書として使えます

市民生活課で発行する写真付きの「住民基本台帳カード」は公的な身分証明書として使うことができます。写真付きカードの申請に必要なものは、顔写真1枚(縦4.5cm×横3.5cm、6ヵ月以内に撮影した無帽、正面、無背景のもの)と印鑑です。また、官公署発行の顔写真付きの身分証明書(運転免許証、パスポートなど)をお持ちの方はご持参ください。発行手数料は500円です。

問い合わせ / 市民生活課 ☎83-3509

税務課 ☎83-3508

市税等の納期限

11月30日(水)

固定資産税・都市計画税
(第3期分)

国民健康保険税(11月分)
介護保険料(11月分)

防衛庁では来年3月採用
の二等陸・海・空士を募集
しています。

試験日 / 平成17年12月11日(日)、平成18年1月29日(日)
受付期間 / 各試験日の前日まで
試験会場 / 新発田駐屯地
応募資格 / 18歳以上26歳
までの男子(平成18年3月1日現在)

問い合わせ / 市民生活課
または、自衛隊新潟地方連絡部長岡出張所
長岡市学校町2-9-26
☎0258-33-0256

自衛官募集案内

小千谷市民文芸の集い

公民館 ■82-9111

小千谷市民文芸のつどいを開催します。どなたもお気軽にお越しください。

期日 / 11月19日(土)

会場 / 市民会館

入場無料

短歌・俳句大会

時間 /

短歌大会 = 午後0時30分～
2時15分

俳句大会 = 午前10時～
午後2時15分

記念講演

時間 / 午後2時30分～3時30分

講師 / 阿部静雄さん(第40回角

川俳句賞受賞・俳人協会会員)

演題 / 「鈴木真砂女と私」

その他 / 講演会終了後、講

師を囲んでの交流懇親会を

開催します。

参加を希望さ

れる方は、11

月17日(休)まで

に公民館へ申込

みください。



12月おはなしの会

図書館 ■82-2724

ボランティアグループによる11月のおはなしの会

毎週火曜日午後3時30分

～4時

12月6日、13日、20日、27日

毎月第3日曜日

午後2時

～2時30分

12月18日

会場 / 図書館 1

階おはなしの部屋

問い合わせ / 図書館



「SOS雪おろし」

…あなたの雪おろしをお手伝いします

雪おろし支援活動希望者募集

小千谷市では、市民の雪おろしの支援として「雪おろし支援活動(SOS雪おろし)」を実施します。

この制度は豪雪時を含め常時スムーズに雪おろし作業が行えるよう、市民と市が協力して雪おろしを行う人を募り、雪おろしでお困りの方への紹介サービスを行うものです。

対象者 / 雪おろしを希望する個人

(申込みは町内会長、民生委員や隣人など代理の人でも構いません。)

申込みが多数あり、作業開始まで時間をいただくことがあります。

親戚、知人などの協力を得られる方のご利用は、ご遠慮願います。

対象家屋 / 市内に所在する個人所有の住宅など(事業所や店舗など法人所有の建物は除きます。)

災害などにより避難勧告区域の家屋や倒壊等の恐れのある危険家屋については、事故防止のため、対象外とさせていただきます。

申込方法 /

通年希望者(冬季間の雪おろし全てをあらかじめ依頼したい方)

申込書に必要事項を記入して、12月20日(火)までにお申込みください。(申込書は、建設課、支所、連絡所にあります。)

随時希望者(1回ごとの雪おろしを依頼したい方)

希望する際に、建設課へお申込みください。(電話可)

作業までの確認事項など

通年希望者

担当する雪おろし作業者が事前にお伺いしますので、日程や作業代金などの打ち合わせを行います。

随時希望者

建設課で雪おろし作業を行う方を一覧表で紹介します。希望者は一覧表から選んで各自で依頼してください。

原則として各自で選んでいただきますが、市が代理で依頼することもできます。申込みの際にご相談ください。

作業代金

作業代金は全額希望者の負担となります。

金額と支払方法は希望者と雪おろし作業を行う方で話し合ってください。

この制度では、一定の作業代金は定めておりませんが、豪雪時などにおいても作業代金が高騰しないよう上限金額を定めています。作業を行う方1人1日当り15,600円、1時間当たり1,950円です。高齢福祉課、社会福祉協議会で行う低所得者除雪援助事業の対象となる方は、申込時にその旨をお申し出ください。

問い合わせ / 建設課克雪係 ■83-3514

同時に雪おろし作業会員の募集も実施しています。詳細は市報おぢや11月25日号でお知らせします。

低所得高齢者世帯などの

除雪援助事業を実施します

労力的、経済的に自力での除雪が困難な高齢者世帯などについて除雪賃金の援助をします。

援助の対象 / 雪おろしや落雪式屋根から落下した雪の処理

手続き / 希望する世帯は、所定の申請書を直接、または民生委員を通じて提出していただきます。審査を行い、対象世帯の決定、登録をします。

- 除雪賃金は、除雪作業を行った方に支払います。ただし、限度額を超えた場合は、超過分を対象世帯から作業員に直接支払っていただきます。

高齢者世帯

- 65歳以上の方のみの世帯 * 60歳以上、65歳未満の方で、介護保険の要支援（介護）認定を受けている方を含みます。
- 60歳以上の方のみの世帯であって、そのうち3カ月以上ねたきりの状態が続いている方がいる世帯

高齢者と障害者の世帯

- 65歳以上の方と次のいずれかの方のみで構成されている世帯
身体障害者で1～4級の認定を受けている方、精神障害者保健福祉手帳の1～3級を所持している方、療育手帳のAを所持している方

高齢者と児童の世帯

- 65歳以上の方と中学生以下の児童・生徒のみの世帯
援助する限度額 /
- 1世帯につき冬季間31,200円（山間地は46,800円）まで
個人負担 / 市が支払った金額の1割
申請先 / 高齢福祉課 ☎83-4060

母子世帯

- 配偶者のいない女子と中学生以下の児童・生徒のみの世帯

身体障害者世帯

- 世帯主が身体障害者1～4級の障害者の世帯

その他の世帯

- 世帯主が知的障害者、精神障害者等の要援護世帯であって上記に準ずる世帯
援助する限度額など
- 1世帯につき冬季間28,080円（山間地は42,120円）まで
個人負担 / なし
申請先 / 社会福祉協議会（サンラックおぢや ☎83-2340）



いずれの世帯とも、次に該当する場合は対象となりません。

- 健康で自力による除雪が可能な世帯
- 市民税課税世帯
- 市内または近隣市町村にいる親族や近親者から無償で除雪をしてもらえる世帯
- 生活保護世帯

ちぢみの里営業日の変更

ちぢみの里 ☎81-1717

ちぢみの里（地域間交流センター）では、毎週水曜日を休館日とさせていただきますが、11月23日（祝）は平常どおり営業します。

なお、翌24日の木曜日は、振替休館とさせていただきますので、ご了承ください。



《営業時間》午前10時～午後10時
《料金》

大人900円、小学生500円（フェイスタオル、バスタオル、浴衣付）
（午後8時以降、フェイスタオル付 大人700円 小学生300円）

《一口情報》

9月25日、市報おぢやと同時に配布させていただきました「震災復興支援割引利用券」のご利用期限は3月10日までですが、期間間近ですと混雑が予想されますので、早めのご利用をお勧めします。ご宴会パックなど、入館料、個室使用料、料理、飲み物とあわせてお得なセットなどをご用意しております。詳細は、お問い合わせください。

新潟文化祭2005主催事業

創作演劇を観る会

～しばいづくりはまちづくり～

地域の独自性を活かして熱心に活動している4劇団の成果を、ご覧いただくものです。

日時 / 11月26日（土）・27日（日）

両日とも午後1時～

会場 / 長岡リリックホール シアター

入場無料（入場整理券が必要）

問い合わせ / 新潟文化祭実行委員会事務局

☎025-280-5139

中越大震災復興基金メニューの追加

復興基金事業から新規追加メニューのお知らせです。 企画財政課 ☎83-3507
 各メニューの具体的な取り扱いについては、申請窓口などにお尋ねください。復興基金ホームページ <http://www.chuetsu-fukkoukikin.jp/>でも具体的なメニュー内容や、申請に必要な書類など詳しい情報が掲載されています。

事業区分	メニューの名称	内 容	対象者	申請・問い合わせ先
生活支援	情報通信基盤施設復旧・整備支援	被災したテレビ共同受診施設の復旧・整備に要する経費を助成します。 対象経費 / テレビ放送の再送信に必要な鉄塔、局舎、受電設備、電源設備などの復旧に要する経費 ただし、復旧経費が20万円未満または1世帯あたりの負担額が2万円未満の場合を除く。 補助率 / 2分の1以内（100万円を限度） 補助期間 / 平成17年度～19年度 申請期限 / 各年度とも補助事業実施の1カ月前まで 既に実施した事業については、平成17年11月30日(水)までに申請してください。（申請書は総務課にあります）	テレビ共同受信組合（総務大臣に業務開始を届け出ているもの）	総務課庶務係 ☎83-3506
	復興ボランティア活動支援	被災地におけるボランティア活動の実施・コーディネートのための活動拠点整備経費を補助します。 対象経費 / ボランティア活動拠点整備に要する経費（事務所借り上げ料、通信経費、消耗品費など） 補助率 / 2分の1以内（150万円限度） 補助機関 / 平成17年度～19年度 申請期限 / 各年度とも補助事業実施の1カ月前まで 既に実施した事業については、平成17年11月30日(水)までに申請してください。（申請書は健康福祉課にあります。）	県内に住所を有するボランティアグループで構成する団体（参加グループ20以上）	健康福祉課福祉係 ☎83-3517

新潟県中越大震災復興基金事務局

〒950-8570 新潟市新光町4-1

TEL 025-280-5767

FAX 025-280-5709

E-mail info@chuetsu-fukkoukikin.jp

URL <http://www.chuetsu-fukkoukikin.jp/>



国道291号の災害復旧工事にもない、東山トンネル先（小栗山内）で実施している通行規制で、現在、災害復旧工事のため夜間通行止めとなっています。

なお、東山トンネルは通行許可証を提示した車両のみ通行を認めています。

夜間通行止め期間 / 12月上旬まで（ただし、日曜日を除く）

時間 / 午後8時～翌日午前6時まで

問い合わせ / 建設課 ☎83・3514

国道291号夜間通行止め

お知らせ

Information

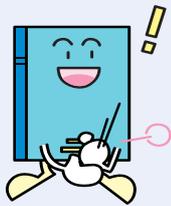
小千谷市役所 ☎ 83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる

広報クイズ

解答をはがきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おぢやの感想もあると担当は
うれしいのですが...

問題 昨年震災で中
止された市展(美術展)
が11月1日から市民
会館開催されました。
さて、この市展、今年
で何回目でしょうか。



15回 25回

35回(ヒントはp10)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務
課広報広聴係あて(住所不要)

締切 11月24日(当日消印有効)

10月号の答えは、祭り屋台でした。

抽選の結果次の方が当選しました。

中山春美さん 松永かな子さん

吉原いみ子さん

人口と世帯数(10月31日現在)

男	20,115人	5 出生	29人
女	20,583人	9 死亡	40人
合計	40,698人	4 転入	81人
世帯数	12,332世帯	15 転出	74人

事故発生状況(10月31日現在)

	17年10月まで	16年10月まで
件数	205件	164件
死者	2人	5人
傷者	269人	201人

消防本部出動状況(10月31日現在)

	17年10月まで	16年10月まで
火災	25件	-
救急	1,346件	-

気象データ10月

	17年10月	過去10年の平均
平均気温	16.2	15.4
最高気温	28.4	28.5
最低気温	7.8	4.3
降水量月計	135.0mm	156.5mm

小千谷地域消防本部速報値

新潟県中越大震災

国の被災者生活再建支援制度

生活関係費の申請期限を延長

全壊などの被害があり世帯収入等が一定の条件にあてはまる世帯が対象となる被災者生活再建支援法に基づく支援制度(国の制度)で、生活関係経費の申請期限が延長されましたのでお知らせします。

国の制度申請期限

生活関係経費

従来の申請期限	延長後の申請期限
平成17年11月22日	平成19年3月22日

居住関係経費(今回は変更ありません)

対象経費	申請期限
家賃など	平成18年11月22日
家賃など以外	平成19年11月22日

注)被災者生活再建支援法施行令の規定に基づき新潟県知事が認定した長期避難世帯は当面全壊扱いのまま申請できますが、上記申請期限とは異なる扱いとなります。具体的な日程が決まり次第ご連絡します。

県の制度申請期限

(市報おぢや10月10日号でお知らせしたとおり)

対象経費	申請期限
生活関係経費、居住関係経費共	平成19年12月22日

問い合わせ/建設課 ☎ 83-3514

震災復興支援
スニーカー展示会

期日/11月20日(日)

会場/白山運動公園駐車場

時間/正午~午後2時

内容/

ランボルギーニカウンタック

などのスニーカーの展示

チャリティーバザーなど

入場無料

その他/当日雨天中止。な

お、展示車両準備の関係で11

月17日(木)現在の週間天気予報

で11月20日が雨の予報の場合

も中止となります。

主催/(有)千吉良興業(群

馬県前橋市)

スニーカーカー車両協力/ド

リーム・ファンタジー・ジャ

ンクシオン(DFJ)

問い合わせ/(有)千吉良興業

☎ 027・2833・1234

市総務課 ☎ 83・3506



小千谷を描く No.283 避難訓練(10月23日)

51人の尊い生命を失った中越大震災から1年が過ぎました。哀悼の痛みを噛みしめながらも古里再興への新たな決意の時でもありましょう。23日の午前10時30分市内ではサイレンが鳴り避難訓練が行われ、小千谷小学校のグラウンドに近くの市民がそれぞれの町内旗の下に集まりました。中でも上ノ山婦人防火クラブの方々が揃いの法被ほっぴを着て登場され一際目をひきました。

このクラブでは、地震前から毎週火曜の夜に火の用心の巡回をされ、防災意識を高めておられるということで、日ごろの実践に頭がさがりました。

私も訓練に参加して、その大切さを実感しました。

(絵と文は西脇正久さん)

表紙

震災直後から救援に駆けつけてくださった自衛隊のみなさんが、10月23日(日)、当時吹き出しが行われた総合体育館前のコミユニティプラザで、車両の展示試乗会を開いてくれました。バイクにまたがり自衛隊員からヘルメットを着けてもらう少年からは、うれしそうな笑顔がこぼれていました。

編集後記

あの震災から1年を迎えた10月23日(日)いろいろな式典やイベントがありました。多くのみなさんがさまざまに思いで防災訓練や行事に参加されたことでしょう。

復興祈念式で体験談を聞きながら、語る人も聞く人も、一生忘れることのできないこの1年だったと改めて感じました。

震災からの復興はまだ始ったばかりです。これからもみんな力を合せて頑張りましょう。